

2021年1月12日

学生の皆さんへ

—第3波を乗り切るために—

文学研究科長・文学部長

現在、新型コロナウイルス感染拡大第3波のまっただ中にあります。1月8日付で東京都をはじめとする1都3県に緊急事態宣言が発令され、本学のBCPレベルも1から2へ引き上げられました。一方、本研究科でも、12月27日と1月6日にそれぞれ1名、計2名の学生の感染が確認されました。接触者は確認済みであり、保健所や大学本部と連絡を取りながら対応しているところです。感染者および接触者のプライバシーの保護に配慮しつつ、関係者のケアと感染拡大防止に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

さて、これからは期末試験、大学院入試（1月27～29日）、AO入試Ⅲ期（2月13日）、大学入試個別学力試験（2月25・26日）など重要日程が目白押しです。学部・研究科として、一層、気を引き締めて感染防止につとめていかなければなりません。以下は学生の皆さんへの連絡と特に注意していただきたい事項です。不自由なこととは思いますが、ここで踏みとどまらないとさらに大きな惨禍に見舞われることとなります。自分自身のため、隣人のため、社会のためよろしくをお願いします。

*以下は主として専修・専攻分野に所属し、専門教育科目・大学院の授業を受ける学部2年生以上の学生を念頭に置いてのものです。全学教育、他学部・他研究科の授業や施設利用については、それぞれからの情報発信に注意してください。

1. 授業・定期試験について

今学期中は、実技・実験・実習の科目等で対面での授業実施が不可欠な場合を除き原則オンライン授業となります。定期試験の実施方法も含めて Classroom 等を通じた授業担当教員からの連絡に注意してください。対面授業では、感染防止とQRコードでの記録を徹底してください。

2. 研究室や施設の利用について

「文学部・文学研究科の研究室・施設使用等のガイドライン」をBCPレベル2相当にあらためました。内容はBCPレベル1のものと大きく変わっていませんが、ガイドラインに厳格に従ってください。今回の本研究科における感染が同じ研究室を利用する学生同士で起こった可能性があります。研究室等の利用は資料の持ち帰りなど必要な場合のみとし、一定時間滞在して研究を行うようなことはしないでください。必ずマスクを着用し、会話も最小限にとどめてください。施設を利用した場合は必ず記録を残してください。

*ガイドラインは文学部・研究科のウェブサイトに掲載されています。

<https://www.sal.tohoku.ac.jp/jp/news/covid19.html>

3. 卒業論文・研究／修士論文・研究／博士論文の口述試験について

できるだけオンライン試験を取り入れます。専修・専攻分野の指示に従ってください。

4. 大学院入試について

感染防止を徹底した上で、予定通りの日程と方式で実施します。

5. 日常生活について

手洗い励行、マスク着用、「密」の回避など感染防止につとめてください。不要不急の旅行、飲食を伴う懇親会等の開催は控えるよう特に注意してください。

6. 体調が悪い場合

東北大学ウェブサイトの以下を参照してください。

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/condition.html>